



2022年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年4月27日

上場会社名 フタバ産業株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 7241 URL <https://www.futabasangyo.com>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 吉貴 寛良
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 今井 英樹 (TEL) 0564-31-2211
 定時株主総会開催予定日 2022年6月22日 配当支払開始予定日 2022年6月7日
 有価証券報告書提出予定日 2022年6月23日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期の連結業績(2021年4月1日~2022年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期	572,118	22.6	6,115	△21.4	7,807	△1.9	3,307	△19.2
2021年3月期	466,809	△2.0	7,780	△26.7	7,962	△20.1	4,095	△35.6

(注) 包括利益 2022年3月期 13,441百万円(10.7%) 2021年3月期 12,147百万円(316.7%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2022年3月期	36.94	—	4.1	2.6	1.1
2021年3月期	45.73	—	5.6	2.9	1.7

(参考) 持分法投資損益 2022年3月期 709百万円 2021年3月期 △255百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期	309,487	90,014	27.2	940.37
2021年3月期	290,194	87,216	26.8	866.86

(参考) 自己資本 2022年3月期 84,219百万円 2021年3月期 77,641百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2022年3月期	35,468	△35,547	△3,451	6,730
2021年3月期	22,792	△24,672	1,750	9,522

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2021年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00	895	21.9	1.2
2022年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00	895	27.1	1.1
2023年3月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00		12.8	

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	350,000	32.8	2,000	54.1	2,000	19.6	1,500	—	16.75
通期	720,000	25.8	10,000	63.5	10,000	28.1	7,000	111.6	78.17

※ 注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 ー 社（社名）ー、除外 1社（社名）双叶金属製品（深セン）有限公司

（注）詳細は、【添付資料】11ページ「3. 連結財務諸表及び主な注記（5）連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無
④ 修正再表示：無

（注）詳細は、【添付資料】11ページ「3. 連結財務諸表及び主な注記（5）連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

- (3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数

2022年3月期	89,580,827株	2021年3月期	89,580,827株
2022年3月期	20,177株	2021年3月期	13,927株
2022年3月期	89,552,774株	2021年3月期	89,553,088株

(参考) 個別業績の概要

1. 2022年3月期の個別業績（2021年4月1日～2022年3月31日）

- (1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期	246,339	6.0	△481	—	6,358	128.7	5,730	112.1
2021年3月期	232,474	△11.5	539	△86.3	2,780	△55.9	2,702	△31.0
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2022年3月期	63.99		—					
2021年3月期	30.17		—					

- (2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期	174,152	58,039	33.3	648.05
2021年3月期	167,149	51,999	31.1	580.56

(参考) 自己資本 2022年3月期 58,039百万円 2021年3月期 51,999百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、現時点での入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、その情報の不確実性のほか、今後の経済情勢、市場動向、株価・為替動向等の状況変化により予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(当連結累計期間における重要な子会社の異動)	11
(会計方針の変更)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13
4. 役員の変動	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により依然として厳しい状況が続いているものの、北米、欧州及びアジアにおいては景気は持ち直しております。中国においては、新型コロナウイルス感染症の感染再拡大の影響により、一部で経済活動が抑制されているものの、景気は持ち直しの動きがみられます。国内経済においては、景気は持ち直しの動きが続いているものの、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が残る中で、一部に弱さがみられます。また、世界経済、日本経済ともにウクライナ情勢等による不透明感が見られる中で、原材料価格の上昇や金融資本市場の変動、供給面での下振れリスクに注意する必要があります。

当社グループの主要取引先であります自動車業界においては、新型コロナウイルス感染拡大に伴う部品供給不足等により、日本、北米及び欧州においては新車販売台数が前年に比べ減少しております。中国及びアジアにおいては新車販売台数が前年に比べ増加しております。

こうした状況のなか、当社グループにおいては2021年度から2023年度を対象とする中期経営方針を策定し、選ばれる会社・勝ち抜く会社に向けた強化、真のグローバル企業への取り組み強化、持続可能な企業基盤の強化の3つを柱として、強固で持続可能なグローバル企業を目指しております。

当連結会計年度の業績は、売上高は5,721億円(前年度比22.6%増)となりました。利益につきましては、売価変動等の減益要因により、営業利益は61億円(前年度比21.4%減)、経常利益は78億円(前年度比1.9%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は33億円(前年度比19.2%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①日本

売上高は2,483億円と前年度に比べ145億円(6.2%増)の増収となりました。セグメント利益は1億円(前年度比90.0%減)となりました。

②北米

売上高は1,137億円と前年度に比べ257億円(29.2%増)の増収となりました。セグメント損失は6億円(前年度は9億円のセグメント利益)となりました。

③欧州

売上高は495億円と前年度に比べ155億円(45.6%増)の増収となりました。セグメント利益は7億円(前年度比26.4%減)となりました。

④中国

売上高は1,011億円と前年度に比べ194億円(23.8%増)の増収となりました。セグメント利益は46億円(前年度比35.2%増)となりました。

⑤アジア

売上高は736億円と前年度に比べ249億円(51.3%増)の増収となりました。セグメント利益は8億円(前年度比1.8%減)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度の総資産については、有形固定資産等の増加により、前連結会計年度末に比べて192億円増加し、3,094億円となりました。負債については、借入金等の増加により、前連結会計年度末に比べて164億円増加し、2,194億円となりました。純資産については、為替換算調整勘定等の増加により、前連結会計年度末に比べて27億円増加し、900億円となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当社グループの現金及び現金同等物は、前年度末に比べ27億円減少し、67億円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度の営業活動の結果、得られた資金は354億円であり、前年度に比べ126億円(55.6%増)の増加となりました。これは、仕入債務の増加等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度の投資活動の結果、使用した資金は355億円、前年度に比べて108億円(44.1%増)の支出の増加となりました。これは、有形固定資産の取得支出の増加等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度の財務活動の結果、使用した資金は34億円(前年度は17億円の収入)となりました。これは、連結の範囲の変更を伴わない関係会社出資金の取得支出等によるものであります。

(4) 今後の見通し

次期の見通しにつきましては、当社グループを取り巻く環境は依然として不透明であります。生産体制の見直し、生産効率の向上、原価改善の推進、サプライチェーンの見直し及び物流費の低減などに取り組むことにより、次年度の連結業績予想は売上高7,200億円(前年度比25.8%増)、営業利益100億円(前年度比63.5%増)、経常利益100億円(前年度比28.1%増)、親会社株主に帰属する当期純利益70億円(前年度比111.6%増)を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

将来のIFRS適用に備え、社内のマニュアルや指針等の整備及びその適用時期について検討を進めております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当連結会計年度 (2022年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,527	6,734
受取手形及び売掛金	88,648	89,219
製品	4,387	6,166
仕掛品	18,011	16,231
原材料及び貯蔵品	6,493	7,653
その他	8,101	9,360
貸倒引当金	△20	-
流動資産合計	135,150	135,367
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	75,874	82,922
減価償却累計額	△45,384	△49,343
建物及び構築物（純額）	30,490	33,578
機械装置及び運搬具	225,841	250,083
減価償却累計額	△176,542	△189,638
機械装置及び運搬具（純額）	49,299	60,445
工具、器具及び備品	75,401	86,500
減価償却累計額	△66,105	△74,459
工具、器具及び備品（純額）	9,296	12,040
土地	14,425	14,537
リース資産	18,798	17,850
減価償却累計額	△16,816	△16,493
リース資産（純額）	1,982	1,357
建設仮勘定	23,270	21,457
有形固定資産合計	128,765	143,416
無形固定資産		
ソフトウェア	857	1,570
その他	24	22
無形固定資産合計	882	1,592
投資その他の資産		
投資有価証券	15,316	17,387
長期貸付金	786	789
退職給付に係る資産	8,517	10,068
繰延税金資産	907	1,127
その他	1,059	955
貸倒引当金	△1,189	△1,217
投資その他の資産合計	25,396	29,111
固定資産合計	155,044	174,120
資産合計	290,194	309,487

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当連結会計年度 (2022年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	67,544	73,832
電子記録債務	4,064	4,150
短期借入金	13,637	16,335
1年内返済予定の長期借入金	14,411	25,920
未払法人税等	1,117	773
未払消費税等	2,565	1,831
役員賞与引当金	39	33
未払費用	11,368	11,904
その他	11,485	10,284
流動負債合計	126,235	145,067
固定負債		
社債	12,000	12,000
長期借入金	46,087	43,022
繰延税金負債	7,818	9,246
製品保証引当金	218	225
退職給付に係る負債	9,078	8,645
その他	1,539	1,267
固定負債合計	76,742	74,406
負債合計	202,978	219,473
純資産の部		
株主資本		
資本金	16,820	16,820
資本剰余金	13,334	9,183
利益剰余金	36,549	38,961
自己株式	△19	△14
株主資本合計	66,684	64,950
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,771	7,982
為替換算調整勘定	1,587	7,300
退職給付に係る調整累計額	2,597	3,986
その他の包括利益累計額合計	10,956	19,269
非支配株主持分	9,574	5,794
純資産合計	87,216	90,014
負債純資産合計	290,194	309,487

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
売上高	466,809	572,118
売上原価	437,442	543,009
売上総利益	29,367	29,108
販売費及び一般管理費	21,587	22,993
営業利益	7,780	6,115
営業外収益		
受取利息	57	91
受取配当金	286	312
作業くず売却益	262	566
持分法による投資利益	-	709
為替差益	406	736
雑収入	841	983
営業外収益合計	1,854	3,400
営業外費用		
支払利息	812	830
固定資産廃棄損	356	678
持分法による投資損失	255	-
雑損失	248	198
営業外費用合計	1,672	1,707
経常利益	7,962	7,807
特別利益		
関係会社清算益	-	11
投資有価証券売却益	-	99
特別利益合計	-	110
特別損失		
減損損失	20	532
関係会社出資金売却損	-	1,122
投資有価証券評価損	-	7
特別損失合計	20	1,662
税金等調整前当期純利益	7,942	6,255
法人税、住民税及び事業税	1,907	1,839
法人税等調整額	993	198
法人税等合計	2,901	2,037
当期純利益	5,040	4,218
非支配株主に帰属する当期純利益	945	910
親会社株主に帰属する当期純利益	4,095	3,307

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
当期純利益	5,040	4,218
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,329	1,209
為替換算調整勘定	2,493	6,183
退職給付に係る調整額	2,215	1,388
持分法適用会社に対する持分相当額	67	441
その他の包括利益合計	7,106	9,223
包括利益	12,147	13,441
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	11,028	11,620
非支配株主に係る包括利益	1,118	1,821

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	16,820	13,377	33,348	△89	63,456
当期変動額					
剰余金の配当			△895		△895
親会社株主に帰属する当期純利益			4,095		4,095
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		△48		71	22
連結子会社の増資による持分の増減		6			6
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	△42	3,200	70	3,228
当期末残高	16,820	13,334	36,549	△19	66,684

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	4,445	△803	381	4,023	9,008	76,488
当期変動額						
剰余金の配当						△895
親会社株主に帰属する当期純利益						4,095
自己株式の取得						△0
自己株式の処分						22
連結子会社の増資による持分の増減						6
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	2,325	2,391	2,215	6,933	566	7,499
当期変動額合計	2,325	2,391	2,215	6,933	566	10,728
当期末残高	6,771	1,587	2,597	10,956	9,574	87,216

当連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	16,820	13,334	36,549	△19	66,684
当期変動額					
剰余金の配当			△895		△895
親会社株主に帰属する当期純利益			3,307		3,307
自己株式の取得				△30	△30
自己株式の処分		△9		35	26
連結子会社出資金の取得による持分の増減		△4,142			△4,142
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	△4,151	2,411	5	△1,734
当期末残高	16,820	9,183	38,961	△14	64,950

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	6,771	1,587	2,597	10,956	9,574	87,216
当期変動額						
剰余金の配当						△895
親会社株主に帰属する当期純利益						3,307
自己株式の取得						△30
自己株式の処分						26
連結子会社出資金の取得による持分の増減						△4,142
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	1,211	5,712	1,388	8,312	△3,779	4,532
当期変動額合計	1,211	5,712	1,388	8,312	△3,779	2,798
当期末残高	7,982	7,300	3,986	19,269	5,794	90,014

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	7,942	6,255
減価償却費	23,772	24,478
減損損失	20	532
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	19	6
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	-	△6
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	27	7
受取利息及び受取配当金	△344	△403
支払利息	812	830
有形固定資産廃棄損	352	677
持分法による投資損益 (△は益)	255	△709
関係会社出資金売却損益 (△は益)	-	1,122
売上債権の増減額 (△は増加)	△17,663	3,579
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△4,891	△319
仕入債務の増減額 (△は減少)	13,903	3,481
未払消費税等の増減額 (△は減少)	355	△895
その他	604	△613
小計	25,164	38,023
利息及び配当金の受取額	424	1,272
利息の支払額	△818	△820
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△2,198	△3,007
補助金の受取額	219	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	22,792	35,468
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2	-
定期預金の払戻による収入	2	2
有形固定資産の取得による支出	△24,654	△34,622
有形固定資産の売却による収入	234	246
投資有価証券の売却及び償還による収入	0	135
連結の範囲の変更を伴う関係会社出資金の売却による支出	-	△231
その他	△252	△1,077
投資活動によるキャッシュ・フロー	△24,672	△35,547
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	3,244	1,553
長期借入れによる収入	14,225	21,452
長期借入金の返済による支出	△13,542	△15,249
リース債務の返済による支出	△565	△458
配当金の支払額	△894	△895
非支配株主への配当金の支払額	△828	△429
非支配株主からの払込みによる収入	111	-
連結の範囲の変更を伴わない関係会社出資金の取得による支出	-	△9,393
その他	△0	△30
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,750	△3,451
現金及び現金同等物に係る換算差額	282	738
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	151	△2,791
現金及び現金同等物の期首残高	9,370	9,522
現金及び現金同等物の期末残高	9,522	6,730

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(当連結累計期間における重要な子会社の異動)

第1四半期連結会計期間において、当社の特定子会社であった双叶金属製品(深セン)有限公司の出資金を全て売却したことにより、双叶金属製品(深セン)有限公司は当社の特定子会社に該当しないこととなり、第1四半期連結会計期間より、連結の範囲から除外しております。

また、特定子会社の異動には該当しておりませんが、第3四半期連結会計期間において、双叶(常州)管理有限公司の清算手続きが完了したことにより、第3四半期連結会計期間より、連結の範囲から除外しております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

なお、当連結会計年度の連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。

なお、当連結会計年度の連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、主に自動車等車両部品を生産・販売しており、国内においては当社及び子会社が、海外においては北米、欧州、中国及びアジアにおける各現地法人が、それぞれ担当しております。現地法人はそれぞれ独立した経営単位であり、取り扱う製品について各地域の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、生産・販売体制を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、「日本」、「北米」、「欧州」、「中国」、「アジア」の5つを報告セグメントとしております。各報告セグメントでは主として、自動車等車両部品を生産・販売しております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針と同一であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)	合計
	日本	北米	欧州	中国	アジア	計		
売上高								
外部顧客への売上高	214,502	88,060	34,052	81,522	48,671	466,809	—	466,809
セグメント間の内部 売上高又は振替高	19,345	9	—	178	1	19,535	△19,535	—
計	233,848	88,069	34,052	81,701	48,673	486,345	△19,535	466,809
セグメント利益	1,924	926	968	3,402	887	8,110	△329	7,780
セグメント資産	160,102	69,650	28,988	38,819	17,698	315,260	△25,066	290,194
その他の項目								
減価償却費	14,615	3,865	1,103	3,640	691	23,916	△143	23,772

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額△329百万円は、セグメント間取引消去であります。

(2) セグメント資産の調整額△25,066百万円は、全社資産11,262百万円及び債権債務相殺消去等△36,328百万円が含まれております。全社資産は主に連結財務諸表提出会社の資金(現金預金及び投資有価証券)等であります。

2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)	合計
	日本	北米	欧州	中国	アジア	計		
売上高								
外部顧客への売上高	234,125	113,774	49,595	100,996	73,626	572,118	—	572,118
セグメント間の内部 売上高又は振替高	14,248	—	—	188	5	14,442	△14,442	—
計	248,373	113,774	49,595	101,185	73,631	586,560	△14,442	572,118
セグメント利益又は セグメント損失(△)	191	△675	712	4,600	872	5,701	414	6,115
セグメント資産	167,307	86,303	25,464	41,623	19,102	339,802	△30,314	309,487
その他の項目								
減価償却費	14,295	4,824	1,261	3,539	731	24,653	△175	24,478

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額414百万円は、セグメント間取引消去であります。

(2) セグメント資産の調整額△30,314百万円は、全社資産12,990百万円及び債権債務相殺消去等△43,305百万円が含まれております。全社資産は主に連結財務諸表提出会社の資金(現金預金及び投資有価証券)等であります。

2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
1株当たり純資産額	866円86銭	940円37銭
1株当たり当期純利益金額	45円73銭	36円94銭

- (注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益金額(百万円)	4,095	3,307
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益金額(百万円)	4,095	3,307
普通株式の期中平均株式数(千株)	89,553	89,552

- 3 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当連結会計年度 (2022年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	87,216	90,014
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	9,574	5,794
(うち非支配株主持分)(百万円)	(9,574)	(5,794)
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	77,641	84,219
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数(千株)	89,566	89,560

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 役員の変動

(1) 代表取締役の変動

① 新任代表取締役候補

代表取締役社長 うおずみ よしひろ 魚住 吉博 (現 取締役執行役員)

② 退任予定代表取締役

よしき ひろよし 吉貴 寛良 (現 代表取締役社長)

(2) 取締役の変動

① 新任取締役候補

取締役 みやべ よしひさ 宮部 義久 (現 監査役)

※宮部 義久氏は社外取締役(非常勤)候補者であります。

② 退任予定取締役

いわつき みきお 岩月 幹雄 (現 取締役)

たかはし ともひろ 高橋 友寛 (現 取締役執行役員)

当社執行役員を継続予定

(3) 監査役の変動

① 新任監査役候補

監査役 はやし しげお 林 繁雄 (元 オリパス株式会社 取締役専務執行役員)

② 退任予定監査役

みやべ よしひさ 宮部 義久 (現 監査役)

当社取締役に就任予定

(4) 異動予定日

2022年6月22日

2022年3月期 決算参考資料

【連結】

1. 当期の業績

(単位: 百万円未満切り捨て)

	当期 (2021.4~2022.3)	前期 (2020.4~2021.3)	増減	増減率
売上高	(100.0%) 572,118	(100.0%) 466,809	105,308	22.6%
営業利益	(1.1%) 6,115	(1.7%) 7,780	△ 1,665	△21.4%
経常利益	(1.4%) 7,807	(1.7%) 7,962	△ 154	△1.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	(0.6%) 3,307	(0.9%) 4,095	△ 787	△19.2%
1株当たり純利益	36円94銭	45円73銭		
設備投資	37,010	19,470	17,539	90.1%
減価償却費	24,478	23,772	705	3.0%
為替レート(1 USドル)	112.4円	106.1円		
連結子会社数	21社	23社		

(注) ()内は売上高比率を表示

2. 営業利益増減要因(対前期比)

(単位: 億円)

増益要因	金額	減益要因	金額
部品事業売上増による利益の増	31	売価変動	29
合理化改善	16	部品事業以外の利益減	18
		製品構成変動等	9
		減価償却費の増	7
計	47	計	63
	差引	営業利益の減	△16

3. セグメント別業績

(単位: 百万円未満切り捨て)

		当期 (2021.4~2022.3)		前期 (2020.4~2021.3)		増減	増減率
			利益率		利益率		
日本	売上高	248,373		233,848		14,525	6.2%
	営業利益	191	0.1%	1,924	0.8%	△ 1,733	△90.0%
北米	売上高	113,774		88,069		25,705	29.2%
	営業利益	△ 675	△0.6%	926	1.1%	△ 1,602	-
欧州	売上高	49,595		34,052		15,542	45.6%
	営業利益	712	1.4%	968	2.8%	△ 255	△26.4%
中国	売上高	101,185		81,701		19,484	23.8%
	営業利益	4,600	4.5%	3,402	4.2%	1,197	35.2%
アジア	売上高	73,631		48,673		24,957	51.3%
	営業利益	872	1.2%	887	1.8%	△ 15	△1.8%
消去	売上高	△ 14,442		△ 19,535		5,093	
	営業利益	414		△ 329		743	
合計	売上高	572,118		466,809		105,308	22.6%
	営業利益	6,115	1.1%	7,780	1.7%	△ 1,665	△21.4%

4. 当期の業績の内訳

(単位: 百万円未満切り捨て)

	上期 (2021.4~2021.9)		下期 (2021.10~2022.3)		通期累計 (2021.4~2022.3)	
売上高	(100.0%)	263,631	(100.0%)	308,486	(100.0%)	572,118
営業利益	(0.5%)	1,297	(1.6%)	4,817	(1.1%)	6,115
経常利益	(0.6%)	1,672	(2.0%)	6,135	(1.4%)	7,807
親会社株主に帰属する当期純利益	(△0.5%)	△1,359	(1.5%)	4,667	(0.6%)	3,307

(注) ()内は売上高比率を表示

5. 営業利益増減要因(対前期比)の内訳

(単位: 億円)

増益要因	上期	下期	累計	減益要因	上期	下期	累計
部品事業売上増による利益の増	61	△30	31	売価変動	14	15	29
合理化改善	6	10	16	部品事業以外の利益減	15	3	18
				製品構成変動等	△13	22	9
				減価償却費の増	△7	14	7
計	67	△20	47	計	9	54	63
	差引	営業利益の減	△16				

6. セグメント別業績の内訳

(単位: 百万円未満切り捨て)

		上期 (2021.4~2021.9)		下期 (2021.10~2022.3)		通期累計 (2021.4~2022.3)	
			利益率		利益率		利益率
日本	売上高	118,586		129,787		248,373	
	営業利益	△1,149	△1.0%	1,341	1.0%	191	0.1%
北米	売上高	49,621		64,153		113,774	
	営業利益	△110	△0.2%	△565	△0.9%	△675	△0.6%
欧州	売上高	18,017		31,578		49,595	
	営業利益	65	0.4%	647	2.0%	712	1.4%
中国	売上高	45,377		55,808		101,185	
	営業利益	1,812	4.0%	2,787	5.0%	4,600	4.5%
アジア	売上高	38,078		35,552		73,631	
	営業利益	493	1.3%	378	1.1%	872	1.2%
消去	売上高	△6,048		△8,393		△14,442	
	営業利益	185		228		414	
合計	売上高	263,631		308,486		572,118	
	営業利益	1,297	0.5%	4,817	1.6%	6,115	1.1%

7. 来期の業績予想

(単位: 百万円未満切り捨て)

	2023年3月期 (2022.4~2023.3)	対前期実績	
		増減	増減率
売上高	(100.0%) 720,000	147,881	25.8%
営業利益	(1.4%) 10,000	3,884	63.5%
経常利益	(1.4%) 10,000	2,192	28.1%
親会社株主に帰属する当期純利益	(1.0%) 7,000	3,692	111.6%
1株当たり純利益	78円17銭		
設備投資	33,000	△4,010	△10.8%
減価償却費	29,000	4,521	18.5%
為替レート(1USDドル)	125.0円		

(注) ()内は売上高比率を表示

【個別】

1. 当期の業績

(単位: 百万円未満切り捨て)

	当期 (2021.4~2022.3)		前期 (2020.4~2021.3)		増減	増減率
売上高	(100.0%) 246,339	(100.0%) 232,474	13,864	6.0%		
営業利益	(△0.2%) △481	(0.2%) 539	△1,021	-		
経常利益	(2.6%) 6,358	(1.2%) 2,780	3,578	128.7%		
当期純利益	(2.3%) 5,730	(1.2%) 2,702	3,028	112.1%		
設備投資	16,287	10,594	5,693	53.7%		
減価償却費	12,985	13,271	△286	△2.2%		

(注) ()内は売上高比率を表示